

第2回中央区地域福祉計画推進協議会議事要旨

- 1 日 時：平成20年10月9日（木）午前10時～午後11時40分
- 2 場 所：中央保健福祉センター大会議室（きぼーる11階）
- 3 出席者：委員28名中17名出席（欠席委員：11名）
- 4 事務局：12名

< 次 第 >

- 1 開会
- 2 新規委員紹介
- 3 委員長挨拶
- 4 議題
 - (1) 区地域福祉計画の取組状況の把握について
 - (2) 地域福祉推進モデル事業の採択状況等について
 - (3) 市地域福祉計画推進協議会の設置について
 - (4) その他
 - ア 広報誌の発行について
 - イ 次回の推進協議会の日程について
 - ウ その他
- 5 閉会

議事要旨

次第に従い、議事が進められた。

議題（1）区地域福祉計画の取組状況の把握について

事務局（保健福祉総務課）から、配布資料「中央区地域福祉計画の取り組み状況調査（H20.10.9現在）」について説明。

今年度第1回協議会（6月25日開催）に各委員へ調査依頼した「提供情報」について、新規取組内容のみを説明。

- ・「具体的取組1：地域支えあい連絡会」：白旗台地区部会ネットワーク委員会。
- ・「具体的取組2：地域ボランティアの拠点づくり」：白旗台地区部会「ボランティア」講座。
- ・「具体的取組5：見守り体制をつくる」：ちば中央地区部会「災害時ひとりも見逃さない活動」、民生委員児童委員「65歳以上独居者安否確認訪問」
- ・「具体的取組6：小地域防災活動」：ちば中央地区部会「災害時ひとりも見逃さない活動」、弁天町会「福祉マップ作成・防災訓練実施」、白旗台第9地区連絡協議会「自主防災会」
- ・「具体的取組7：すべての子どもを地域で育てる」：松波地区部会・中央地区部会主催「マミィくらぶ活動」、緑町中学校区部会青少年育成委員会「あいさつ運動、親子ふれあい納涼祭り、セーフティウオッチャー」、白旗台・蘇我地区部会青少年

育成委員会、「子ども110番の家、セーフティウォッチャー」

- ・「具体的取組9：お年寄り向けのスポーツクラブ活動」：ちば中央地区部会「お散歩しませんか」、白旗台地区町内自治会・老人クラブ「グランドゴルフ・ふれあい散歩クラブ」、弁天町会長寿会「ゲートボール・グランドゴルフ実施」、登戸小学校区社会体育振興会「グランドゴルフ大会・ウォーキング」
- ・「具体的取組10：地域による子ども教室」：星久喜地区部会ボランティア委員会「なかよし交流会」、中央地区部会（生涯学習センター共催）「夏休み親子名画鑑賞会」、弁天小学校PTA「弁天小わくわく教室」、大巖寺小学校放課後子ども教室「大巖寺小ふれあい広場」
- ・「具体的取組12：子ども会の充実」：よい子の会（中央地区）「学年を超えた交流、町内行事への積極的参加」、けやき子ども会（登戸・新千葉二丁目育成会）、大巖寺地子ども会育成連絡会・大巖寺学校区内町内自治会 大巖寺小学校児童の99%は子ども会会員
- ・「具体的取組14：子育てサロンの充実」：松波地区部会・中央地区部会共催「マミィくらぶ活動」
- ・「具体的取組18：ドッキングプレイス」：弁天町会「町内大清掃・敬老会での児童による演奏会・夏祭りの開催」、登戸小地区社会振興会「小学校・地域合同運動会」、登渡神社氏子会「登渡神社例祭」
- ・「具体的取組19：社会福祉施設でお手伝い」：ちば中央地区部会「こんにちは お手伝いさんです」、中央地区部会「障害者施設の納涼祭支援」
- ・「具体的取組28：地域で福祉に関する講座、ボランティア講座等の受講機会の提供」：特別養護老人ホームあかひの郷「なるほど介護講座」
- ・「具体的取組34：福祉施設等と住民の連携」：ちば中央地区部会「福祉施設のイベント参加」、蘇我地区部会「福祉施設への慰問」
- ・「具体的取組47：学校安全ボランティア活動の推進」：ちば中央地区部会、松波地区部会、蘇我地区部会、白旗台地区部会、緑町中学校区青少年育成委員会「セーフティウォッチャー」
- ・「具体的取組48：防犯安全運動の推進」：白旗台地区部会「子ども110番の家」
- ・「具体的取組49：地域防犯パトロール」：ちば中央地区部会「パトロール活動、松波地区部会「防犯パトロール」、弁天町会「防犯パトロール」、第9地区連絡協議会内町内自治会「防犯パトロール」、登戸・新千葉二丁目防犯パトロール隊「防犯パトロール」
- ・「具体的取組50：町内自衛防災活動」：第9地区連絡協議会内町内自治会「自主防災会」、弁天町会「防災訓練実施」、登戸・新千葉二丁目防災会「防災訓練」
- ・「具体的取組51：バリアフリーのまちをつくる」：中央地区部会「点字ブロック上の障害物調査」

続いて中央区地域福祉計画推進協議会委員からの提供情報一覧（掲載追加分）

により、8人の委員より新規10項目の内容について説明。

- ・委員：星久喜地区部会、取組項目10「なかよし交流会（子ども教室）」
地域の人と子どもたちとの交流として年2回実施し、秋には木の実を使っ

た遊びやおもちゃを作り、冬には昔遊びの伝承などを行っている。

- ・委員：ちば中央地区部会、取組項目5・6「災害時ひとりも見逃さない活動」
地域における要援護者台帳の整備、災害福祉マップを作成し、関係機関及び組織等と連携し事業計画に基づき実施訓練などを行い、特に障害者やひとり暮らし高齢者などの援助支援に力を注ぐ。
- ・委員：ちば中央地区部会、取組項目19「こんにちは お手伝いさんです」
4箇所福祉施設へ訪問し、軽度な奉仕作業や話し相手などのボランティア活動を中心としたものを継続実施する。
- ・委員：弁天町会、取組項目49「防犯パトロール隊編成」
実施主体は弁天町会で毎月昼2回、夜1回実施し、登録隊員は約20名で1回あたり7～8名程度で行っており、パトロール中は、スピーカーを背負い音楽「オクトーバー・ロックデーダンス」と防犯注意事項を流します。
- ・委員：中央地区部会、取組項目51「点字ブロックの障害物調査」
JR千葉駅周辺の点字ブロック上に置かれている自転車の実態調査を行い、千葉市へ改善要望したが、地元として業務を行政に投げてしまったのは後悔しており、今後、地元で解決に向けた活動を行う。
- ・委員：緑町中学校区青少年育成委員会、取組項目7「あいさつ運動、セーフティウォッチャー・親子ふれあい納涼祭り」
各学校（緑町中学校、緑町・登戸小学校）や民生委員児童委員、自治会が一体となり、地域の子どもたちを育てる活動を行っている。
- ・委員：特別養護老人ホームあかいの郷、取組項目28「なるほど介護講座」
入所されている高齢者のケアに加え、地域住民、学生、施設利用者の家族等に向けた介護、医療、健康講座を年6回実施しており、また、数年前から行政との連携のもと出前講座も実施している。
- ・委員：蘇我地区部会、取組項目34「福祉施設への慰問」
障害者福祉委員会では11人のボランティアの方に登録いただき、4箇所のグループホームを対象に折り紙教室や演奏会等を実施している。
- ・委員：大巖寺小放課後子ども教室、取組項目10「大巖寺小ふれあい広場」
実行委員会を設置し、生徒を対象に各種スポーツや編み物、かるたなど様々な遊びを行っている。
- ・委員：第9地区連協内自主防災会、取組項目6、49、50「自主防災組織」
本市で一番大きな防災会であると思うが、5年前に自主防災日指揮率が80%までになり、現在も増加するよう働き掛けている。

< 意見等 >

委員：西千葉地区部会

前回欠席して代理出席であったが、「他の委員」と重複する内容もあるが、実施している項目が多々あるので、後日取組内容を取りまとめ提出します。

委員：中央区町内自治会連絡協議会

3町内会で自治会館を共有していたが、今月末日で単独での所有となる。街づくりは人とのつながりが重要となるが、月に1度「ぴょんぴょんクラ

ブ」を開催しており、「親子の集い、子どもと高齢者の交流、小中学校の父親の集い（親父の会）、65歳以上の集い（老人クラブ）」等があるが、今後、新しいサロン形式を運用したいため、貴重な意見があればご教示願いたい。

委員：西千葉地区部会

無料で会館が開放されれば、さらに活発な活動はできるがボランティアの方たちを集めるのは大変なことである。

関係者からは、あまり仕事を増やさないで欲しいとの意見もある。

西千葉地区部会管内には5箇所の会館があるが、いずれも皆熱心に活用しており、関係者の方には感謝している。

委員：公募

今年の5月から「長州カフェ」事業を開始しており、地域の人、グループホーム（障害者等）や有料老人ホーム（旧コムスン）入所者などが約40人喫茶店に集まり、コーヒー代金のみ頂き、色々な話をしたり、「マンドリン、三味線、太鼓、声楽」などを楽しんでいる。

グループホーム（障害者）入所者の方は、寒川地区部会の「ふれあい・いきいきサロン」にも参加している。

今後は、色々な事業の把握に努め、資料の活用や事務面の取りまとめを行っていく。

議題（2）地域福祉推進モデル事業の採択状況等について

事務局（保健福祉総務課）から、配布資料「千葉市地域福祉推進モデル事業」について説明。

採択団体名称及び取組内容は別添資料「千葉市地域福祉推進モデル事業 助成団体」参照。

- ・7月1日より、ちば市政だより（7/1号）及び千葉市ホームページで、事業募集のお知らせを開始した結果、各区より23団体の申請がありました。
- ・千葉市において応募23団体の応募資格等の審査を行い、結果、応募23団体の全てを選定審査会に諮りました。
- ・選定審査会は8月25、26日の2日間に渡り開催し、選定審査会の結果、採点結果の上位12団体を「モデル事業」の実施団体とすることに決定した。
- ・当初の予定では、各区2団体のみ選定予定であったが、点数で比較した場合、各区2団体選定すると中央区の高得点の団体が落選してしまうため、選定委員会の協議の中で、中央区のみ高得点の4団体を選定した。
- ・今後、採択された団体には補助金申請手続きを行って頂き、補助金交付後事業を開始する。
- ・さらに今後、保健福祉総務課、中央保健福祉サービス課、社会福祉協議会中央区事務所や本会協議会との連携を図る。

< 質疑・応答なし >

議題(3) 市地域福祉計画推進協議会の設置について

事務局(保健福祉総務課)から、配布資料「千葉市地域福祉推進協議会」について説明。

- ・千葉市の「地域福祉計画推進協議会」を設置し、地域福祉計画の推進状況の把握や、市地域福祉計画の見直しについてなど、地域福祉計画に関する協議等を行います。
- ・委員構成としては「学識経験者2名、福祉関係団体の代表者4名、市民団体の代表者5名、各区地域福祉計画推進協議会委員長6名、公募による市民2名の計19名」である。
- ・設置時期は平成20年11月を予定している。

< 質疑・応答なし >

議題(4) その他

ア 広報誌の発行について(事務局より説明)

- ・「中央区地域福祉計画推進協議会だより」は例年、年2回発行しているため、今回、第5号を作成します。
- ・内容については、6月25日に開催した1回目及び本日の議事内容として「中央区地域福祉計画の取組状況、千葉市地域福祉推進モデル事業」を中心に、また、委員の一部の方が変わっているため委員構成とします。
- ・発行時期については、今年12月に第3回目の「中央区地域福祉計画推進協議会」が行われる予定ですので、その時に各委員の皆様へお示しいたします。
- ・武井委員長より、「ア 広報誌の発行について、中央区地域福祉計画推進協議会だよりは各町内会に回覧されているが、内容が委員長の挨拶等いつも決まった内容であるが、委員の方々から掲載内容の案があれば意見を頂きたい。また、内容は関心を持たれるものが好ましいし、委員の中で「編集委員会」を設置するのも良いのではないか」との発言がある。

< 意見等 >

委員：西千葉地区部会

中央地区管内には16地区部会あるが、今まで4地区部会の活動しか掲載されていないので、なるべく多くの活動内容を掲載して頂くと、事業を行ううえでヒントとなるのでお願いしたい。

委員：公募

発行日の直後、参加可能な活動の呼び掛けなどを掲載して欲しい。
情報提供して頂くと非常に助かるのではないかと。

委員：特別養護老人ホームあかいの郷

情報として、各所属団体等の連絡先を活字で掲載願いたい。

事務局：本日の各委員から寄せられた意見を元に、構成を検討して参ります。

イ 次回の推進協議会の日程について(事務局より説明)

次回は平成20年12月11日(木)午前10時より本大会議室にて開催します。

また、開催通知文は11月上旬頃を予定しています。

ウ その他

委員：中央区町内自治会連絡協議会

ひとり暮らし高齢者の見守りについてですが、当町内会の元気な高齢者が突然倒れ救急車で病院へ搬送されたが、9か月後に死亡した。

聞いた話であるが、ペンダントを押すと関係機関と連絡が取れるとのことであるが、詳しい話を聞きたい。

回答：千葉市保健福祉総務課土屋課長

千葉市高齢福祉課で実施している事業で「緊急通報装置」であり、家庭の固定型電話の回線に子機及びペンダント（身につける）をつなげると、緊急時に相手側の電話（安全センター）が出る仕組みである。

安全センターは受信の信号を受け、通報者に連絡をして事情を確認して対応を図るものであり、もし連絡しても通じない場合は救急車などへの連絡や、緊急連絡先（登録制で緊急時の場合の相手側の電話番号）などへ連絡する。対象者の所得により個人負担がある。

行政の窓口は、保健福祉サービス課である。

回答：西千葉地区部会

「緊急通報装置」は民生委員が取り扱っている。

閉 会

以上